

ハイデルベルク信仰問答より

問 89 古い人に死ぬということは、どういうことですか。

答え 真心から私たちの罪を悲しみ、ますますそれを憎み、それから逃れることであります。

キリスト者が常に意識して生きるべきことは、自分の中の古い自己はキリストの十字架において死んだということです。古い自己とは何でしょうか。生まれながらに神に背を向け、神に喜ばれない生き方をしていることにすら気づかず、罪を罪とも思わず、あるいは罪だと知っていてもそれを選択してしまう、まさに「罪の奴隷」として生きていた頃の私たちです。

私が子ども時代に盗みをやめられなかった話は、これまでも何度かお話しさせていただきました。悪いと分かっているにもかかわらずやめることができなかったのです。後悔しても翌日にはまた同じことを繰り返していました。この泥沼の人生から救い出されたのは、まさにキリストの介入によってでありました。聖霊の力を受けなくては罪を捨ててはできませんでした。

問 89 では「古い人に死ぬ」とはどういうことであるかが問われています。人それぞれ、異なる罪の問題を持っていて、必ずしも私と同じ形で現れるわけではないでしょう。しかし、何らかの意味で同質の問題を抱えているのが人間というもの。自分の力ではどうにもできない何かに囚われて生きているのです。

主イエスは、神に背を向けた自分の状態に気づいた人に救いの御手を差し伸べてくださいます。そして、「新しい自己」すなわち「キリストの人格」を宿し、罪に支配されることのない新しい人生を歩み出させてくださいます。この救いにあずかった人の心には聖霊が住み、神に喜ばれる道を選択する力を与え、まことの自由とは何であるかを教えてください。

「新しい自己」が与えられた人の大きな特徴は、罪を犯す自分が耐え難くなるということです。それは、内なる聖霊を悲しませている状態に心責められるからです。答えの中に「罪を悲しみ」「それを憎み」「そこから逃れる」という三つの動詞が出てきます。罪に対する聖霊の悲しみが自分の悲しみとなり、聖霊を悲しませる生き方を憎み、むしろ神の喜びにこそ目を向けることで罪から遠く離れるということです。

内なる聖霊との対話をしながら生きるということがキリスト者の生活において如何に重要なことであるかが教えられています。私たちが行なう一つひとつのことが、それがどんなに小さなことであったとしても、これは主に喜ばれることだろうかと思う習慣を身につけていきたいと思えます。また、主イエスならこのときにどう行動されるだろうかと考え、弟子として倣う生き方を目指していきましょう。自分は「新しい自己」に生まれ変わったということを何度も宣言し、墓に葬られた「古い自己」に別れを告げましょう。